

毛筆部一科審査会員誌上展

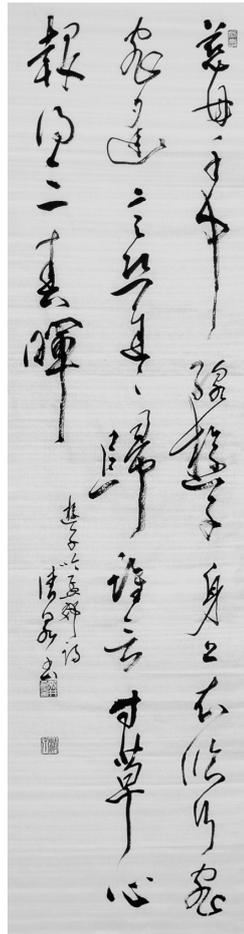
雲開萬壑春

會長 奥村暢之



慈母手中線 遊子身上衣
臨行密密縫 意恐遲々帰

理事長 新井清泉



桃花千歲春

副理事長 佐藤碧山



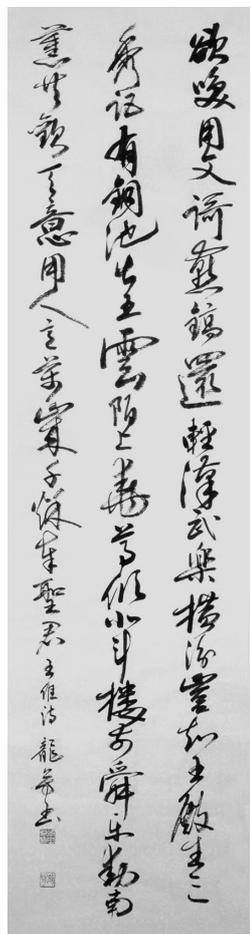
天の三光に身をあたため
地の五穀に精神を養う

副理事長 飯沼天光



欲笑周文調燕鎬 還輕漢武樂橫汾
豈知玉殿生三秀 詎有銅池出五雲

副理事長 岡田龍芳



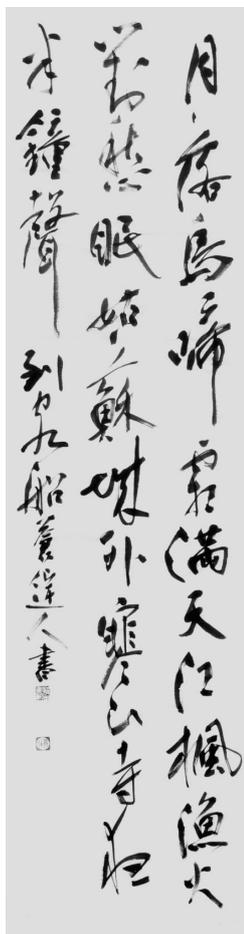
なげけとて月やはものを思はする
かこち顔なるわが涙かな

専務理事 大宮春兆



月落烏啼霜滿天 江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺 夜半鐘聲到客船

専務理事 荻田蒼仙



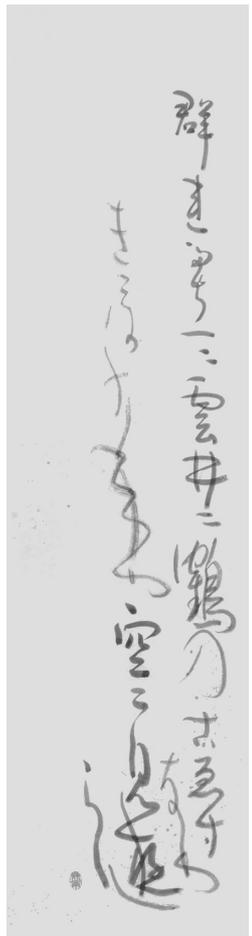
日暮飛鳥還

専務理事 奥田三雲



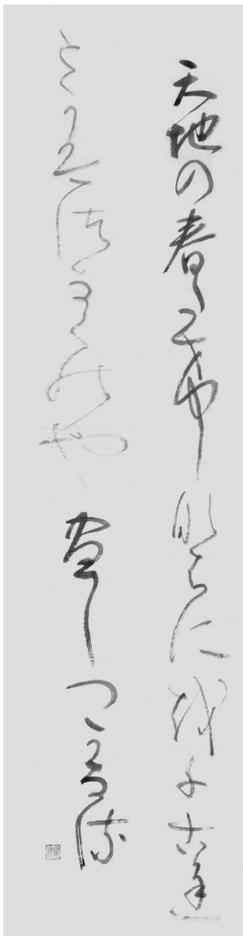
群れ立ちて雲井に鶴の聲すなり
君が千歳や空に見ゆらん

専務理事 澤 静雨



天地の春たけなはにをちこちと
蛙鳴く野や昼しづかなる

専務理事 田口 智祥



山勢西来断 江流北去平
萬家深樹裏 聞是吉州城

専務理事 牧野 恵宗



幾山河越えざり行かば寂しさの
経えなむ国ぞ今日も旅行く

専務理事 水野 香竹



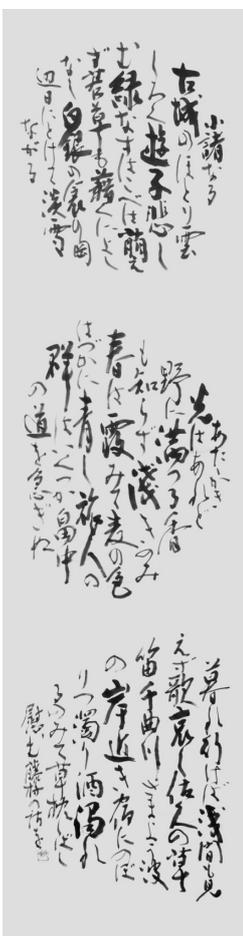
雪ちらりちらり
見事な月夜哉

専務理事 築瀬 舟香



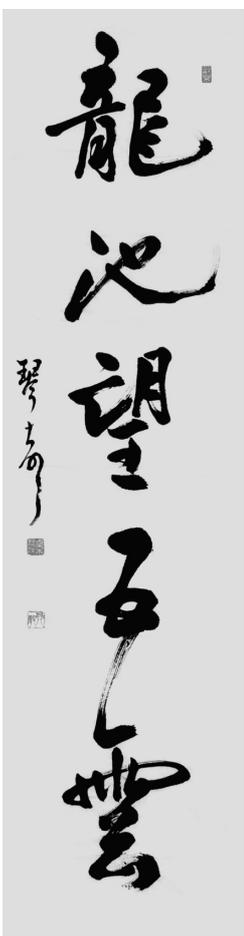
小諸なる古城のほとり雲白く遊子悲しむ
緑なす藜藿は萌えず若草も藉くによしなし

樋田 玲華



龍池望五雲

栗木 琴聲



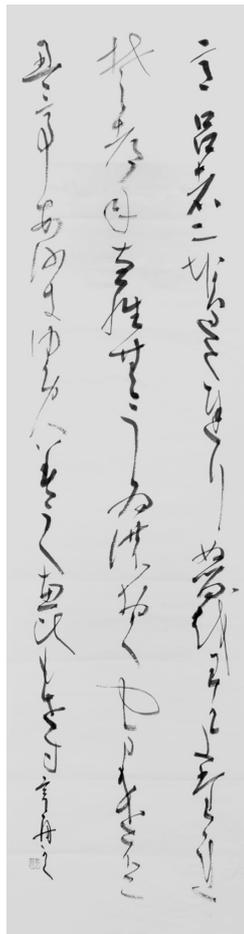
江平秋萬里 山静月三更
彷彿寒烟外 瓜洲有雁聲

林 照香



憲照記念賞

いろは歌

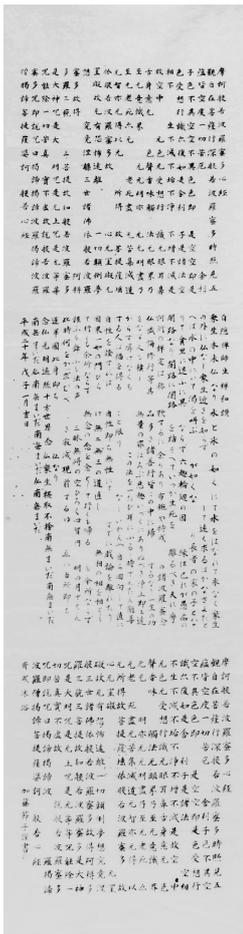


田村亨舟

愛のうた響き渡れば
灰色の夜空に光が射すよ

丹羽彩霞

般若心経

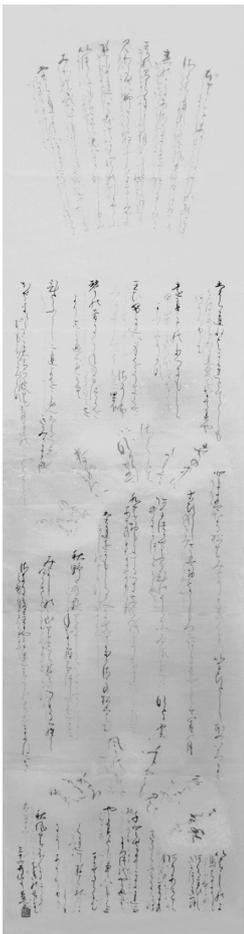


加藤紅翠

江行盡日愛清暉
峽遠江平碧四圍
幾處峯青臨水照
一群魚翠拂船飛

清水翠芳

三十六歌仙の流転

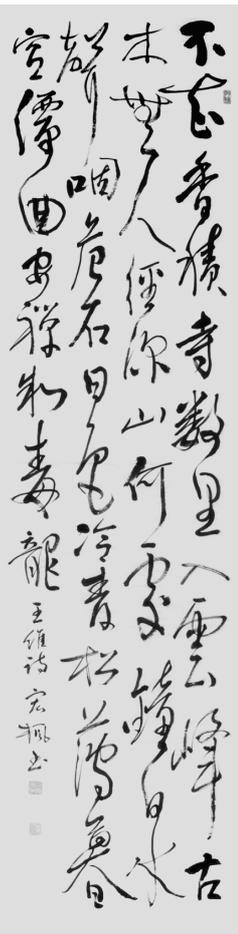


田中貴光

在天願作比翼鳥
在地願為連理枝
天長地久有時盡
此恨綿綿無盡期

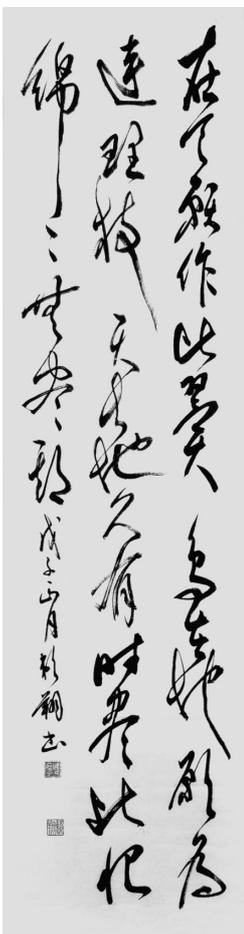
関 頼翔

不知香積寺
古木無人徑
數里入雲峰
深山何處鐘



石橋宏楓

樹塘日暖花爭發
門巷春來鳥自啼



玉樹小華



◆ホームページでは、これらの作品をカラーでご覧いただけます。

第29回 中部児童・生徒硬筆席書大会

今年も左記のとおり、中部児童・生徒硬筆席書大会を開催します。中学生以下なら、だれでも参加できますから、お友だちみんなに呼びかけてご参加下さい。

一、期 日 平成二十年五月六日（火・祝）
 一、受 付 午前九時半から十一時半まで
 （所要時間＝一回約三十分）

一、会 場 土岐市文化プラザ（土岐市役所隣り）
 一、参加料 五〇〇円
 一、用 具 黒色サインペン（各自持参すること）

席書用紙三枚を当日全員にわたします。

一、課 題 下段の文章で、変換をしないこと

一、成績発表 七月号誌上 中日新聞紙上（予定）

一、作品展会場 セラトピア土岐 二階小ホール

一、作品展会期 平成二十年五月十七日（土）十一時～十七時
 十八日（日）九時～十七時

一、褒 賞

大賞・準大賞・会長賞※岐阜県知事賞※土岐市長賞
 ※土岐市教育長賞※岐阜県教育委員会賞※名古屋市教育局委員会賞※土岐市議会議長賞※東濃各市教育委員会賞※岐阜県教育文化財団賞※中日新聞社賞・大書心会賞・理事長賞・師範会賞・特選・奨励賞・金賞・銀賞（※申請中）

申込方法

五名以上の団体は予約制となりますので、大書心会事務局まで、お申込み下さい。なお、個人参加は当日受け付けいたします。

※参加者全員に、お楽しみ抽選プレゼントあり!!

※引率の方にもお楽しみコーナーがあります。

※モニタールームにて、お子さんの揮毫風景をご覧いただけます。

▽授賞 作品展開催中、会場で参加証と引換えにお渡しします。

席書大会課題

新小4年	新小3年	新小2年	新小1年	幼 年
感 心 し ま し た	も う ど う 犬 に	代 わ り を す る	ご 主 人 の 目 の	カ ラ フ ト 犬
大 き く で も	南 き よ く の	雪 上 車 を 引 き	犬 の し た は	や く も す る
ス プ ー ン の や	手 ぬ ぐ い の	犬 の し た は	ふ る よ	い ぬ は
い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は
い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は	い ぬ は

※席書大会当日は、活字の課題を配りますが、それ以外の手本等は
 いっさい見てはいけません。しっかり習っておいて下さい。

新中2・3年（行書）	新中1年（楷書）	新小6年	新小5年
必 要 は な い	生 野 菜 を 食 べ る	内 で 作 ら る 犬 は	ビ タ ミ ン C を 体
一 日 中 番 を す る	一 日 中 番 を す る	小 屋 か ら 羊 を 連	コ リ ー は 朝 早 く
祖 父 の 日 課 で す	祖 父 の 日 課 で す	散 歩 す る の が	公 園 ま で
犬 と い っ し よ に	犬 と い っ し よ に	立 っ て 来 た	多 く の 面 で 役 に
犬 は む か し か ら	犬 は む か し か ら	人 間 に 愛 さ れ	犬 は む か し か ら

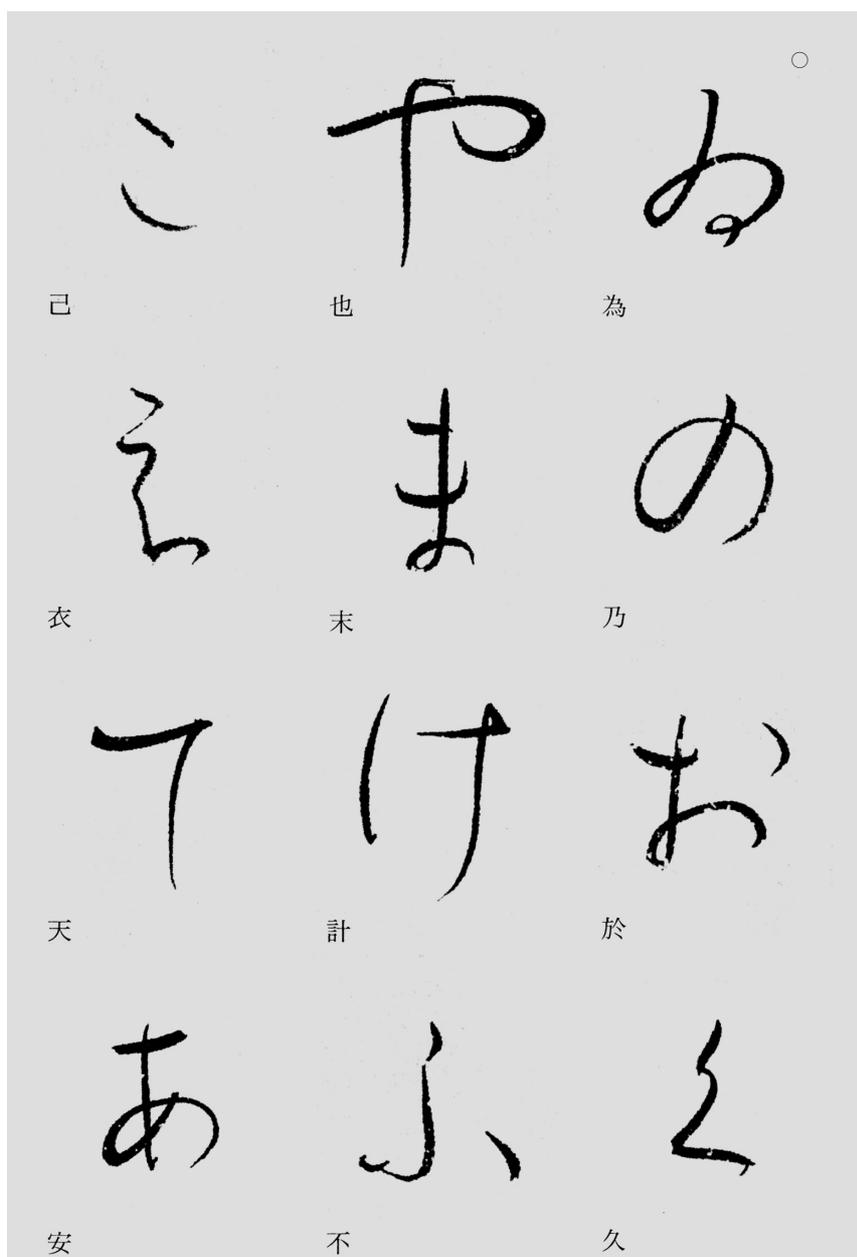
※左の課題はサインペン書
 きの肉筆手本です。

▼原寸大手本（コピー）
 一枚………五〇円

▼席書用紙
 一冊………七〇円
 ※いずれも送料実費

仮名 単体を学ぶ

締切り 三月二十五日(必着)



※高野切第三種・粘葉本和漢朗詠集(○印)から集字しました。
※活字は字母を示しています。

◎平安時代以来、一音についてたくさん
の仮名が使用されてきましたが、
明治三十三年(一九〇〇)、小学校令
により一字一音に整理、統一されま
した。この仮名を平仮名とよび、そ
れ以外の仮名を変体仮名とよび区別
しています。

◎仮名を習う場合、まず一字一字をしっ
かり習熟することが大切です。初心
の方はもちろん、ベテランの方も今
一度初心に返って仮名を学びましょ
う。

◎作品の出し方

上掲の図版で示した三行を書いて下
さい。

▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二
mm)程度の紙に書いて下さい。

※こどものひろば四行用紙も可。
※用具は自由(黒色に限る)

▼毛筆部 かな用半紙に臨書して下さ
い。(拡大臨書可)

▼出品制限の対象とはしませんので、
どなたでも出品できますが、硬・毛
のどちらか一方に限ります。

▼支部名と氏名を必ず記入のこと。

▼優秀作品数点を、写真版として成績
表の後ろに掲載しますが、成績表で
の順位発表はしません。

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕

右肩上がりにして下部を安定
同字変化
円み美しく
扁の右側出過ぎぬよう

行書は楷書より少しやわらかく書く

▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

最良の先生は時
最高の師範は経験

スペイン

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕

中心線
下をせまく

勇	こ	深
気	れ	慮
で	こ	遠
あ	そ	望
る	が	

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

- ◆4月課題予告(楷書)
酒は天の美酒
酒は百薬の長
酒に十の徳あり
- ▼教範・書範||行草または草書
- ▼師範||行書

★最良の：(書体||行書)
スペインのことわざ
物事に習熟しようとするならば、早急に効果を求めずに時間をかけることと、繰り返し練習することが最も必要だということです。
書の道もまた然り。時間をかけて毎日しっかり経験(練習)を積んでいくことが熟達するための最善の方法なのです。

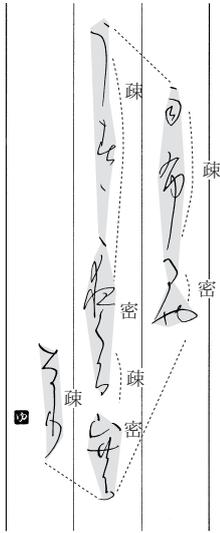
- ◆4月課題予告(行書)
三月の風と
四月の雨が
五月の花を咲かす

★深慮：(書体||楷書)
エウリピデス(前四〇頃〜前四〇〇)
古代ギリシヤの悲劇詩人
血気にはやあって戦いに飛び出すのはいかにも勇しげですが、大きな危険を伴います。派手な行動で周囲から喝采を浴びたいという気持ちはありますが、そこをこらえて冷静に考えるのには勇気が入ります。この勇気こそ指導者に求められる真の勇気です。

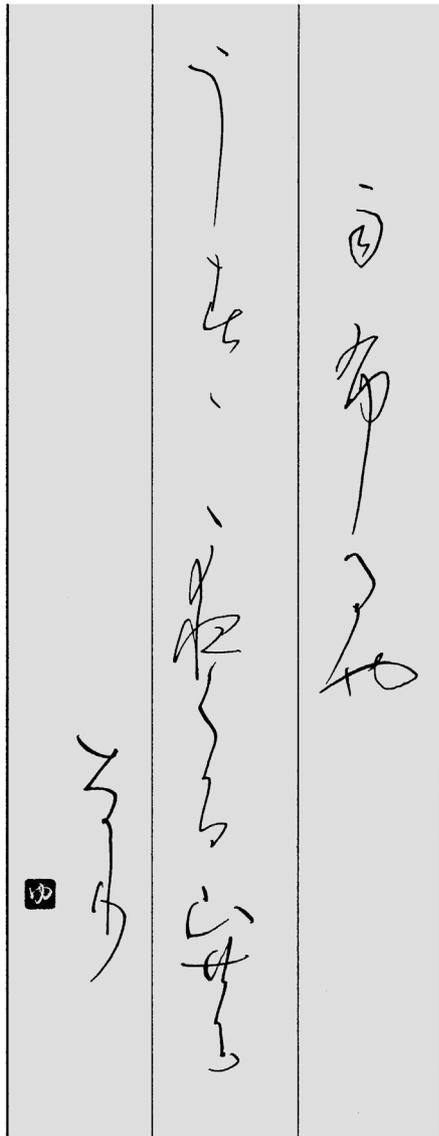
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



雨ふるやうすうす焼くる山のなり
布 春、夜 農奈利

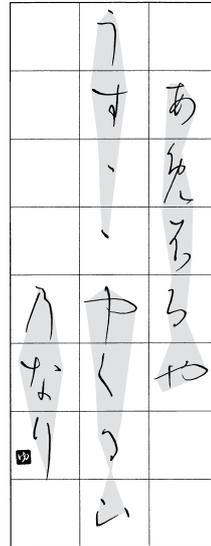


おぎ 荻 田 蒼 仙 書

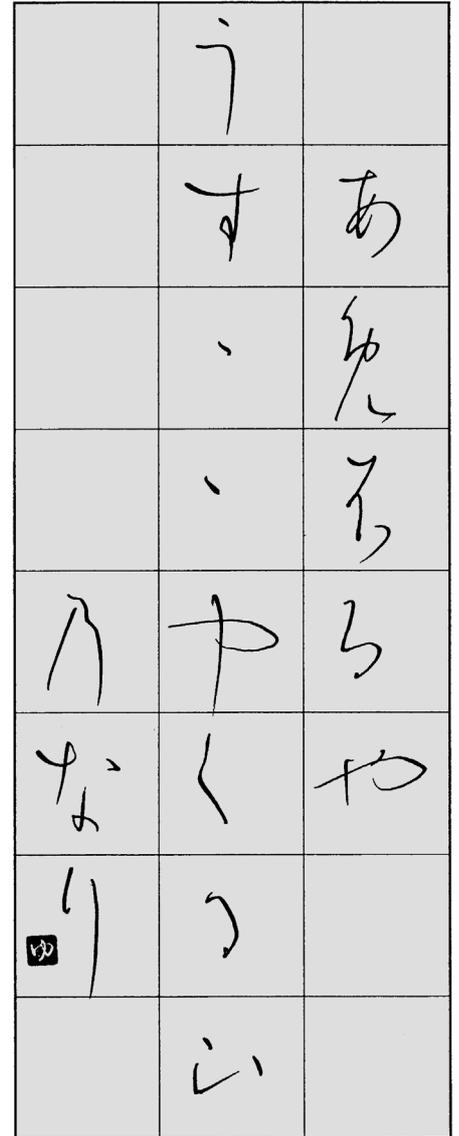
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



雨ふるやうすうす焼くる山のなり
あ免不 乃



おぎ 荻 田 蒼 仙 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

雨ふるやうすうす焼くる山のなり

(芥川龍之介)

〔句意〕雨がしとしと降っている。山の枯草を焼く煙が山なりにうすく立ちのぼっている。

〔級位ワン・ヒント〕

「古筆を学ぶ」の紙上講座が始まっています。かな上達には基本の形を正しく身につける事の大切さからです。正しくとは、そっくりに書く事です。その為に手本なり法帖を一行毎に折って傍にくっつけて、大きさは勿論そっくりに書くことです。漢字の臨書とそこが異なります。面倒でも一枚コピーをして実行して下さい。これが上達の条件です。

〔段位ワン・ヒント〕

景色づくりを意図したところ。

①字間を広げたりつめたり。

②中心移動。

③線の太細・強弱。一字の中にも太細。

④連綿を切って起筆の位置をかえる。

この中の一つでも試みて下さい。特に①と④を。

あたり
あたり

あたり
あたり

あたり
あたり

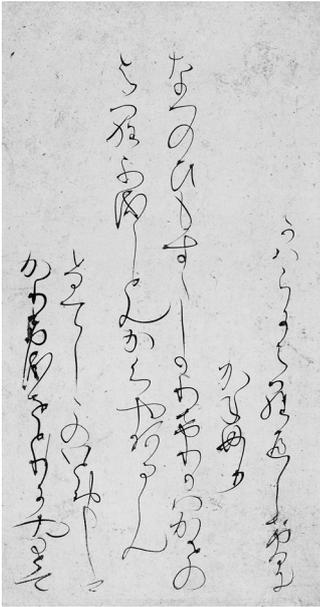
あたり
あたり

あたり
あたり

◆4月課題予告
 静さや花なき庭の春の雨

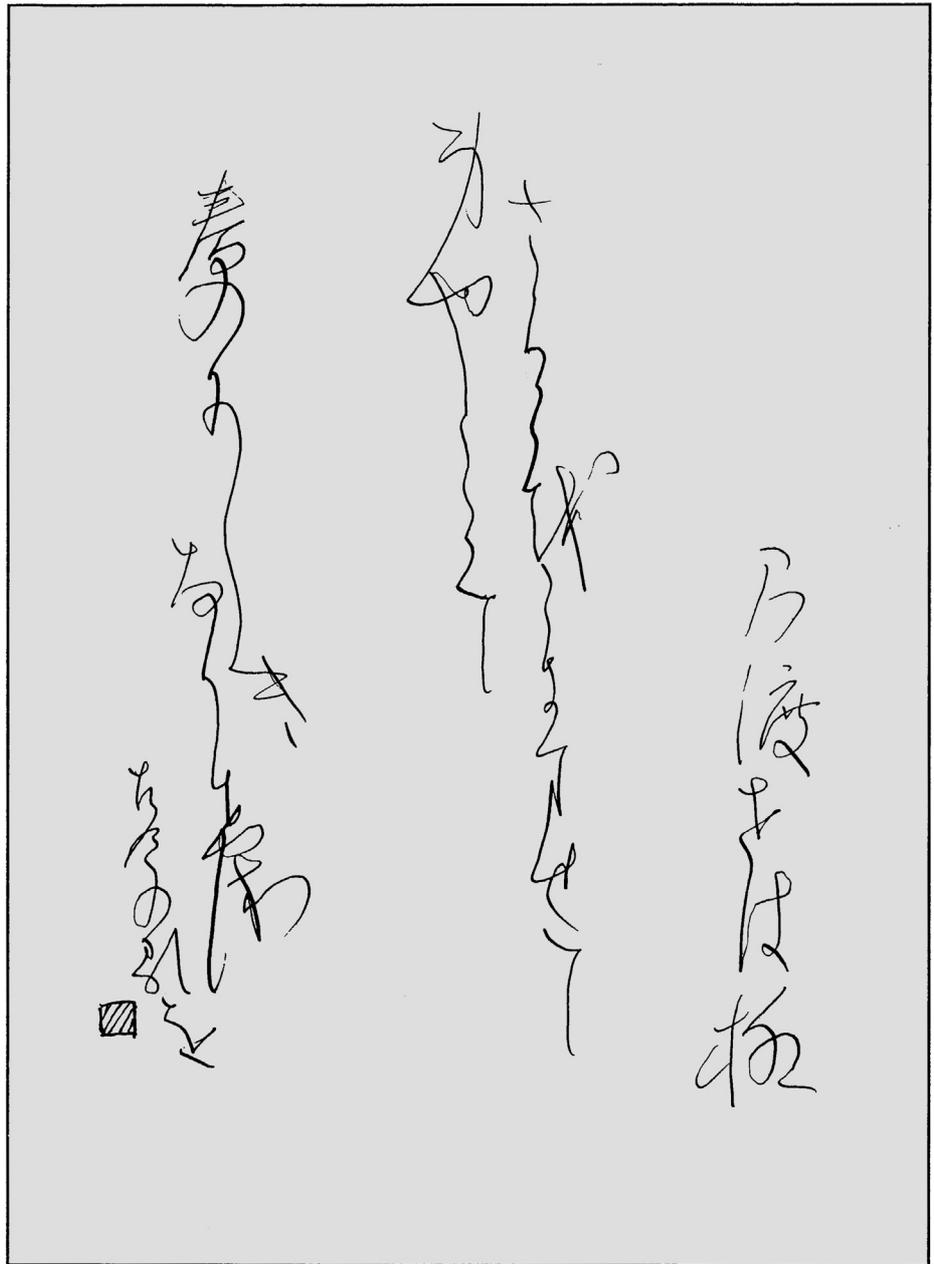
(虚子)

〔古筆参考〕



香紙切

可ハル者羅遍
かはらにはらへしけるに
かなもり
なつのひもすしかりけりかはかぜの
はらふることもなくやあるらん
なでしこのいとおもしろ
かりけるをとりやるとて



締切り 三月二十五日(必着)

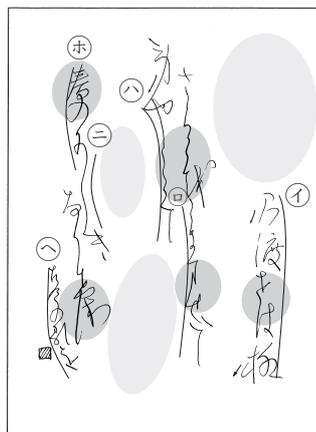
築瀬舟香書

見わたせば 柳桜をこきまぜて
みやこそぞ春の 錦なりける
古今の歌を

〔歌意〕 見渡すところ、柳の緑と桜の紅とをとりまぜて、都はまさに、春の錦さながらである。

〔出典〕 古今和歌集(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ①と②、①と③、①と④、②と⑤、③と⑥、④と⑦、⑤と⑧、それぞれ呼応。
- 余白を美しく。
- 密の墨の動き。
- ↙ の方向大切。

香紙切の線(一)

香紙切の魅力は何と云っても線にあるのではないでしょうか。

- 1、直線的
- 2、スピード感にあふれている
- 3、切れ味の良さ
- 4、弾力に富んでいる

これらは、高野切や関戸古今集には見られない香紙切の特徴と云えます。今回は「希流」を使ってみました。

◆4月課題予告

山ざくらわが見にくければ春霞
みねにも尾にも立ちかくしつ

(古今和歌集)

締切り 3月25日(必着)

主人の定年後の楽しみに、共通の趣味があればと、一緒に園芸教室に通い始めました。猫の額ほどの小さな庭ですが、大好きな野菜や花をたくさん育てようと、二人であれこれ計画を立てています。

主人の定年後の楽しみに、共通の趣味があればと、一緒に園芸教室に通い始めました。猫の額ほどの小さな庭ですが、大好きな野菜や花をたくさん育てようと、二人であれこれ計画を立てています。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

3月ごろからひらひら飛び始める

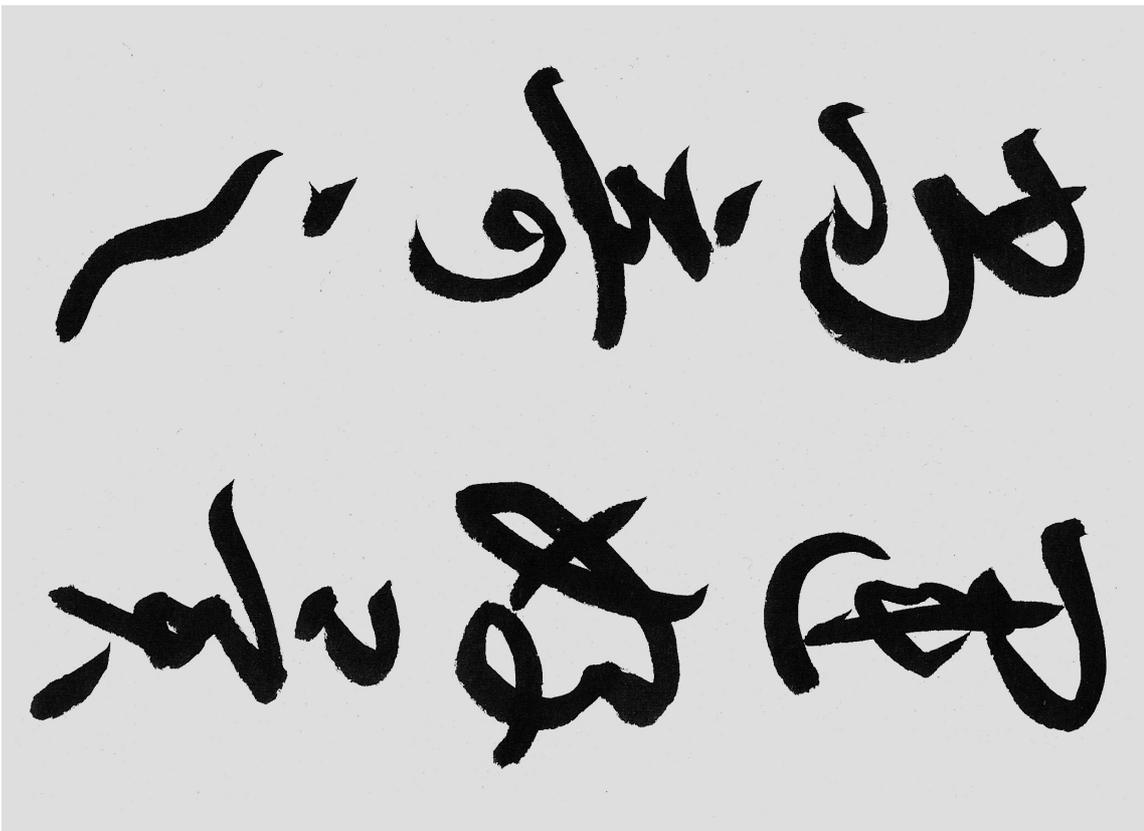
紋白蝶の姿に、春を感じます。

福島県会津若松市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 3月25日 (必着)



準初段から師範まで

奥村暢之臨

【出典】書譜 (687) 【筆者】孫過庭 (648?~703?)
 【読み】運るとがごときなり。異を好み奇を尙ぶの (士は)、



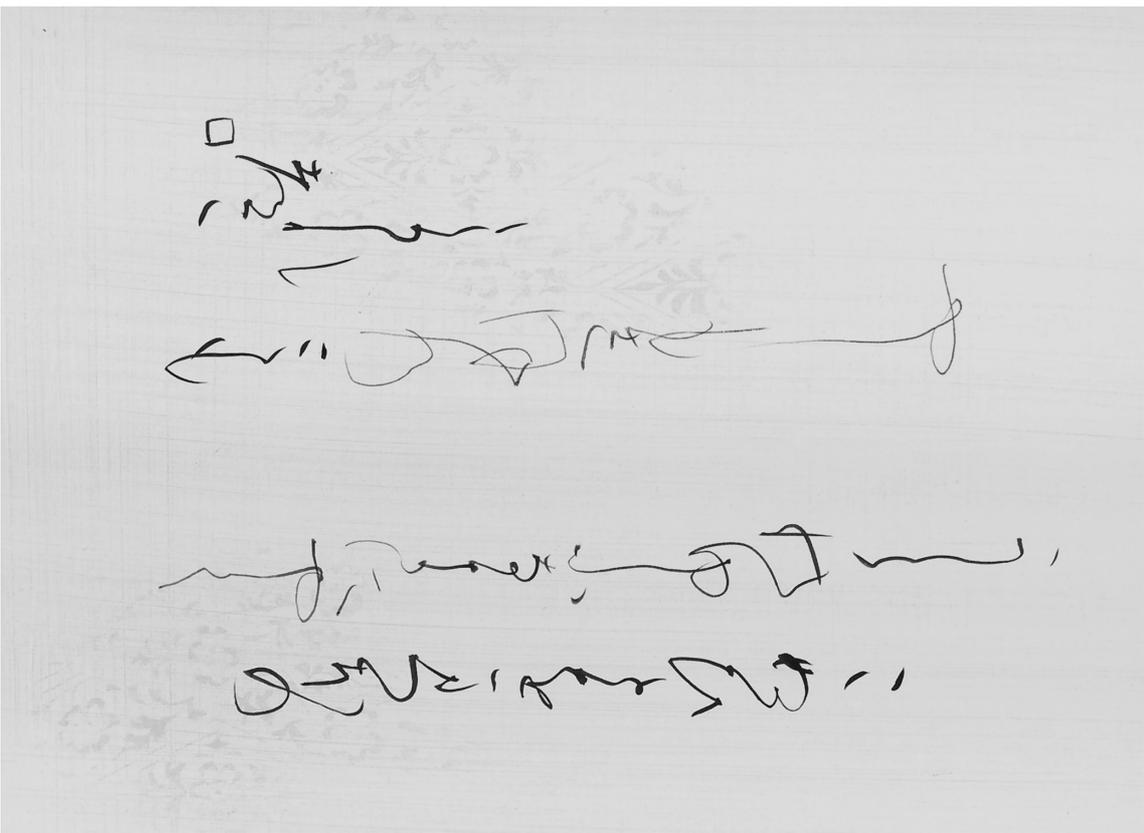
新入から1級まで (楷書)

中村竹童書

【読み】高松緑雨冥たり
 【大意】松の緑が小雨にかすむ。

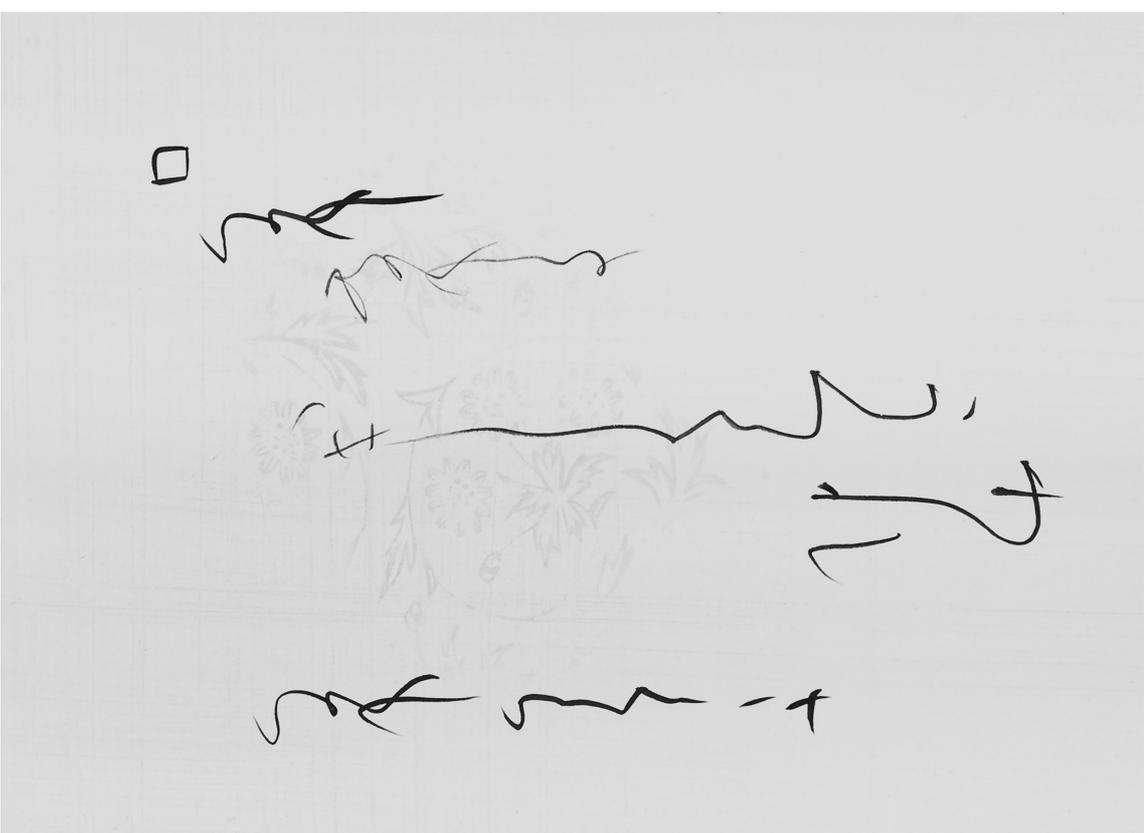
一般部毛筆かな課題

締切り 3月25日 (必着)



準初段から師範まで

桜餅われつくしき友をもち



新入から1級まで

浅井機山先生書

来ぬ人をまつはの浦の夕なぎに
焼くや藻塩の身もこかれつ

〔出典〕 百人一首 (97) 権中納言定家

〔句意〕 いくら待っても来ない人を待ち続け、松帆の浦の夕なぎのころに焼く藻塩のように、私の身もずっと恋こがれていることだ。

〔出典〕 山口青柳

〔句意〕 茶菓の桜餅の前に、女性客との話がはずむ。春着に装った若く美しい女性との、なごやかな会話。おだやかな春の一日の情景である。

一般部毛筆条幅課題

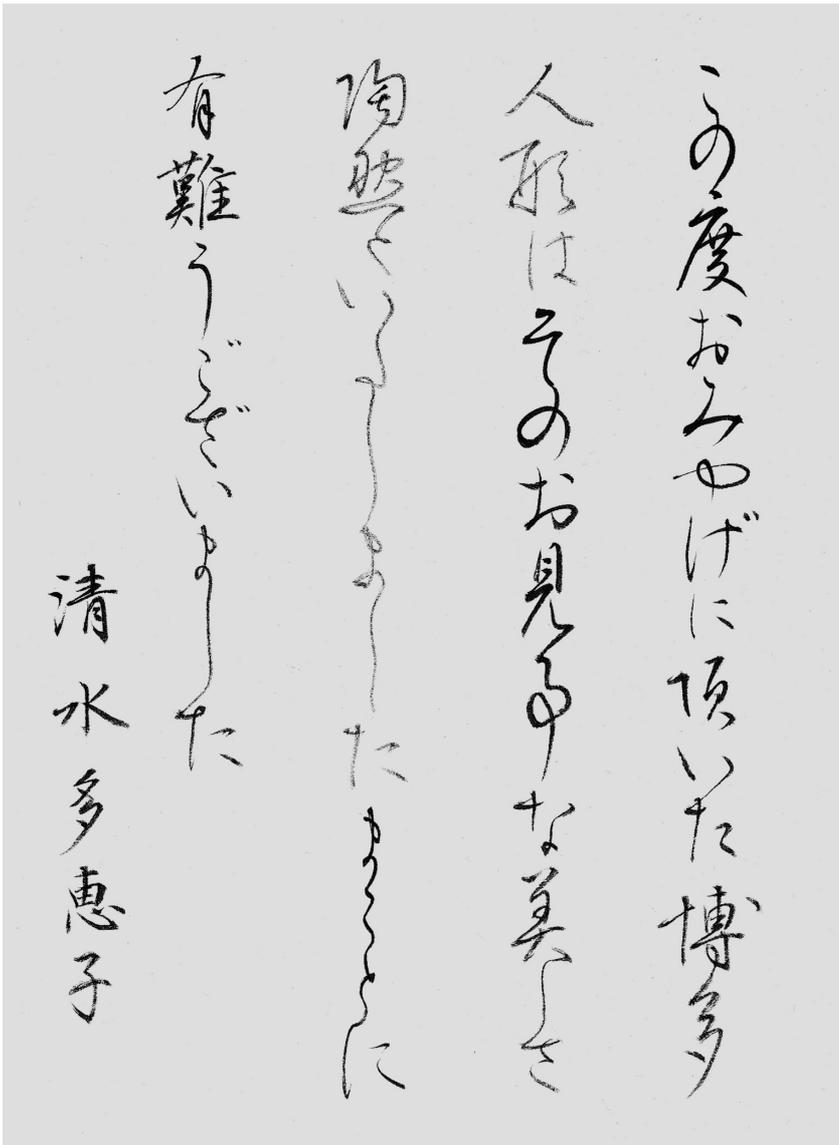
締切り 三月二十五日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)



新井清泉書

晴樹遠浮青嶂出 春江晓带白雲流
 (大意) 晴天の遠方の樹は青々たる山を浮べ出し、春の川の水は夜明けに白雲の影をおびて流れる。
 初出品の方へ
 支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



半紙(334mm×240mm)

平野高鳳書

〔条幅解説〕 創作への展開!! 今月も角川書道字典から抜粋しました。お手本どおりでなく、様々なくずし方を取り入れて、自分自身の作品を作りましょう。



この度おみやげに頂いた博多人形はそのお見事な美しさ陶然と見ました。まことに有難うございました。

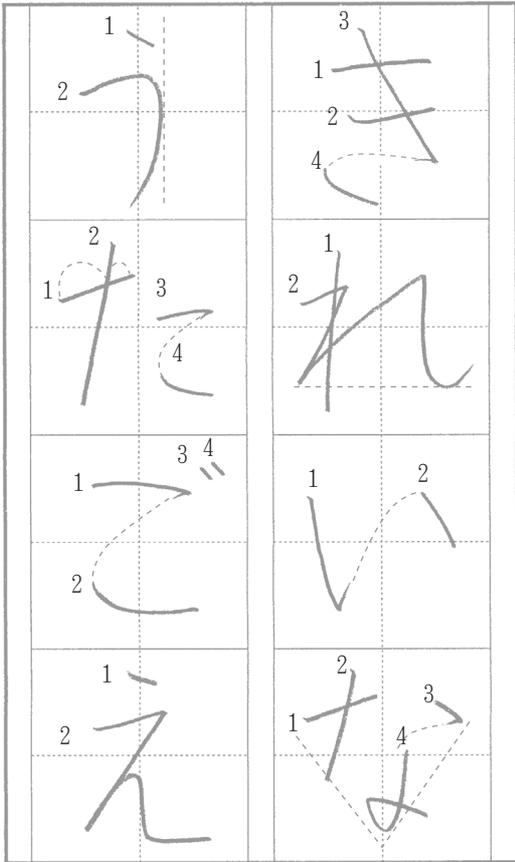
(ご自分の氏名)

・印で墨つぎしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

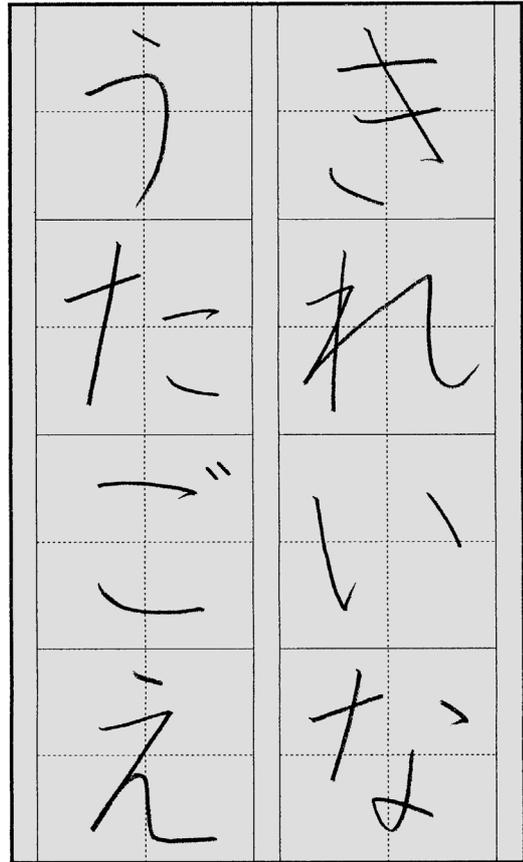
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〈ようぐく〉自由(黒色にかざる)



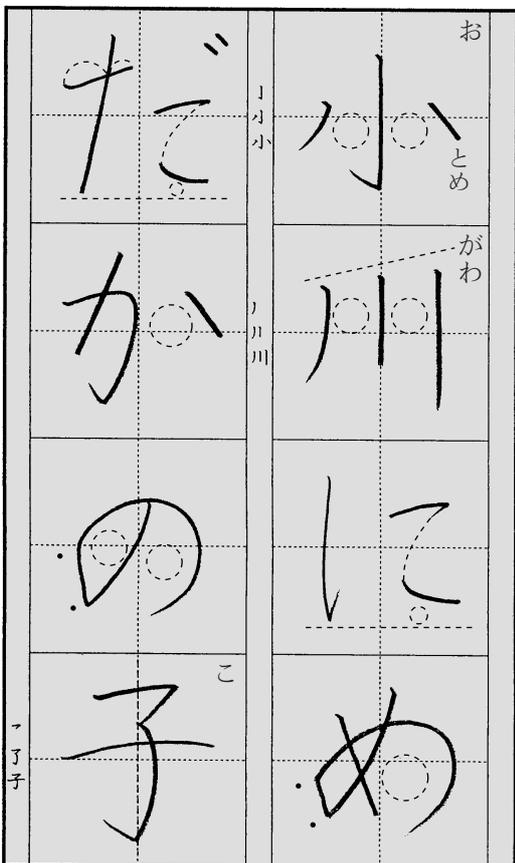
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



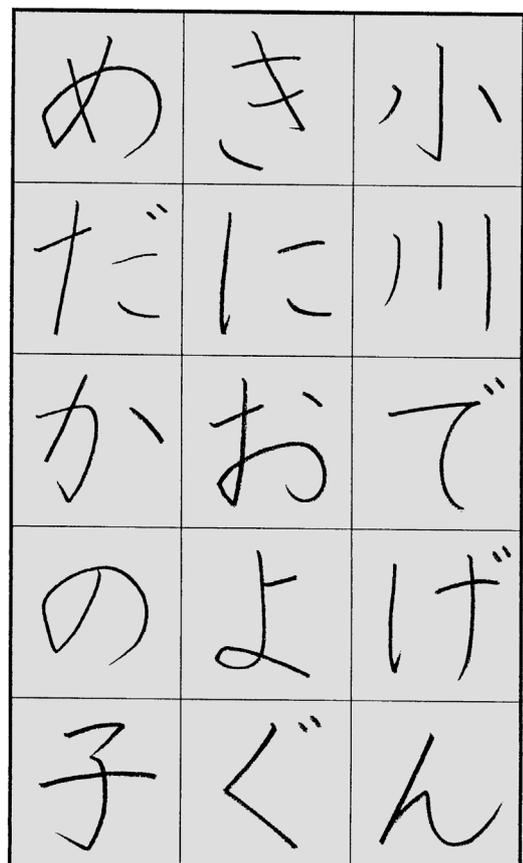
よ
う
年

幼・小一年 三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

小二年



準初段以上

小三年

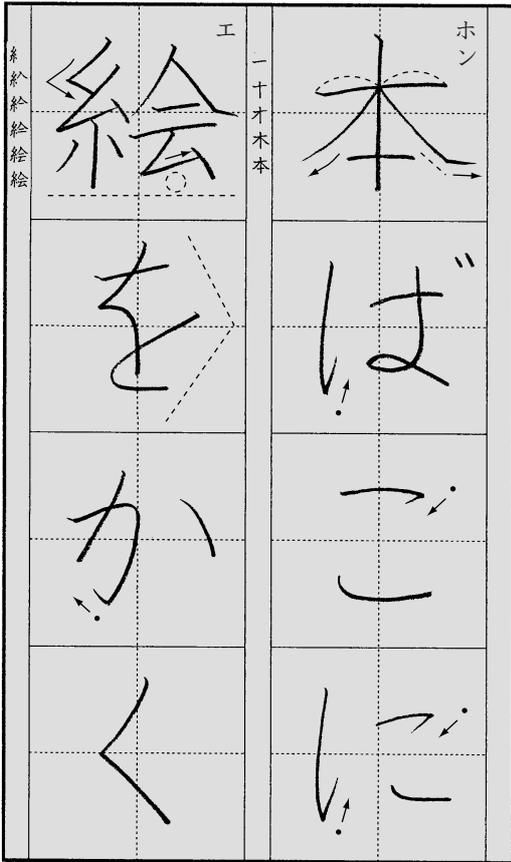


準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入1級

新入1級



〈ようぐく〉自由(黒色にかきえる)

小二・小三年
ふる古田
た瑞苑
ずいえん書

〈用具〉自由(黒色に限る)

に	話 <small>はな</small>
参 <small>サン</small>	し
加 <small>カ</small>	合 <small>あ</small>
を	い

新入1級

加	し	児
を	合	童
す	い	会
る	に	の
姉	参	話

準初段以上

小四年

準初段以上

小四以上
尾郷翠光書

状 <small>ジョウ</small>	菜 <small>な</small>
広 <small>ひろ(がる)</small>	花 <small>はな</small>
畑 <small>はたけ</small>	群 <small>むら(がる)</small>
	帯 <small>おび</small>

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

に	が	菜
広	つ	の
が	て	花
る	帯	が
畑	状	群

(全員)

小五年

(全員)

▼小三年以下の課題 くりもとれいこう 栗本麗光 書



しめきり 3月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 かとうえいげつ 加藤映月 書

	温 <small>おん</small>	街 <small>まち</small>	高 <small>たか</small>	家 <small>か</small>	春 <small>はる</small>
	泉 <small>せん</small>	を	山 <small>やま</small>	族 <small>ぞく</small>	休 <small>やす</small>
	に	散 <small>さん</small>	へ	そ	み
	入 <small>はい</small>	策 <small>さく</small>	旅 <small>りょ</small>	ろ	は
	り	して	行 <small>こう</small>	っ	
	たい	て	に	て	

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙(五行・四行)に書いて下さい。
- 一、四行用紙に書く場合は、文章を収まりよく短くして下さい。
- 一、作品には、支部名(校名)学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。(黒色に限る)
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。

	歌 <small>うた</small>	あ	お	お	そ
	お	り	姉 <small>ねえ</small>	兄 <small>にい</small>	つ
	く	が	さ	さ	業 <small>ぎょう</small>
	り	と	ん	ん	す
	ま	う	に	と	る
	す	の			

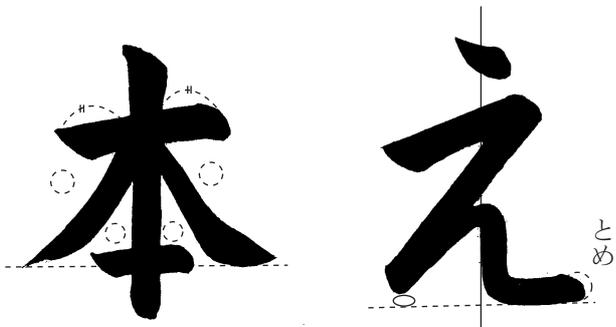
「兄さん・姉さん」は単語としてこのように読みます。

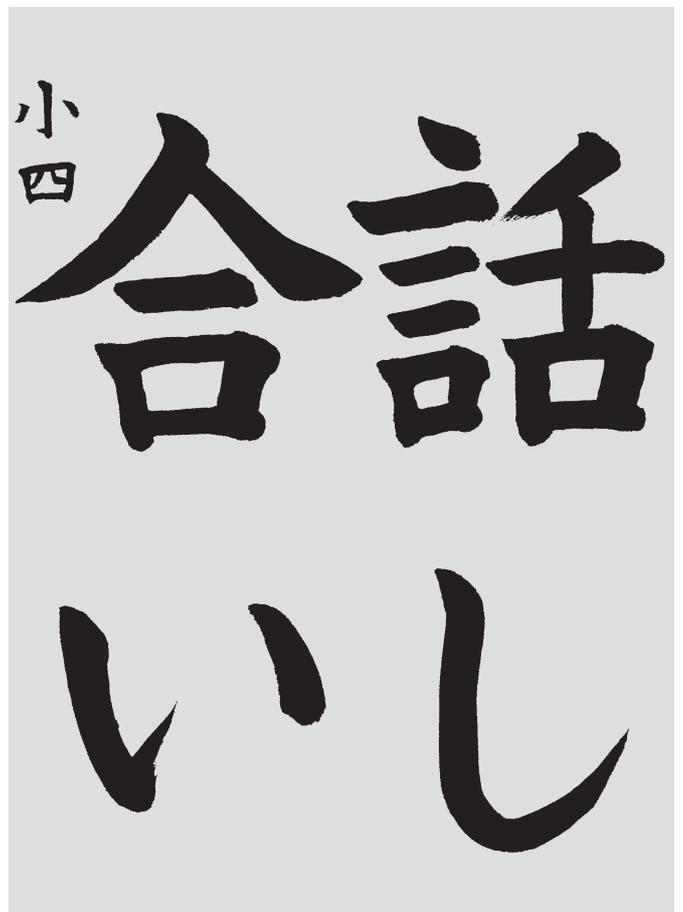
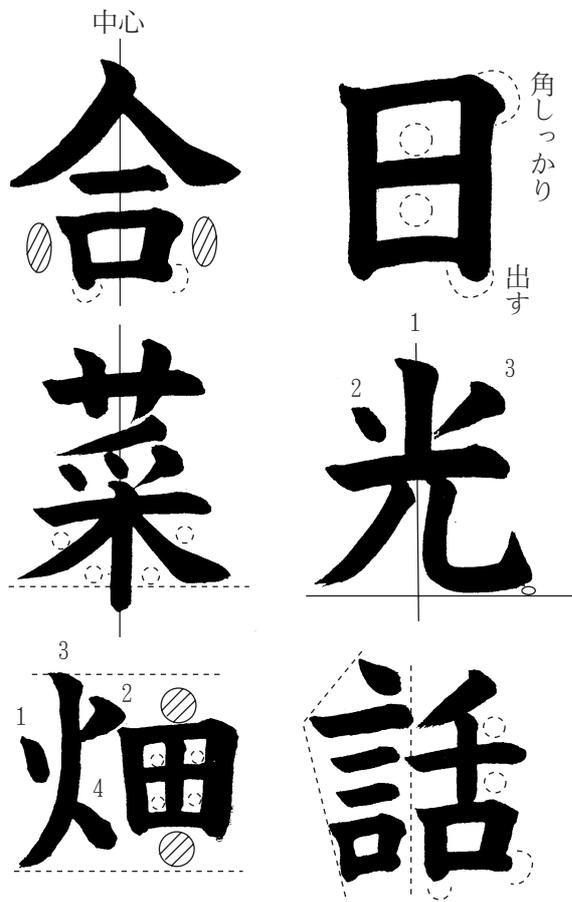
◎お手本はえんぴつ使用



幼年す小二年

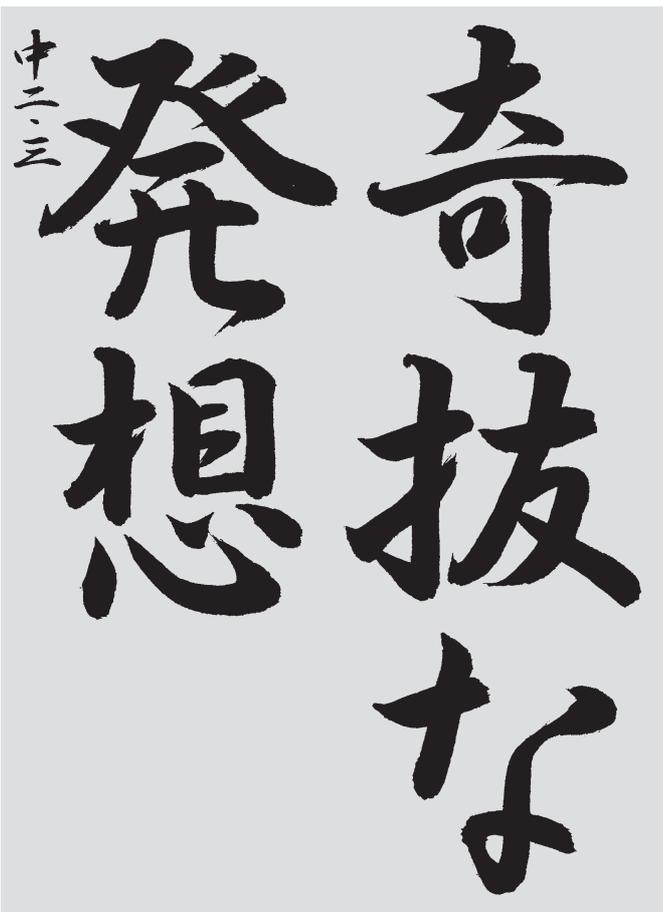
玉樹たまき
小華書しょうか





小三、小五年

水野香竹書



小六(中二・三年) 奥村暢之書

